

厚生労働科学研究費補助金
新興・再興感染症研究事業

新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究

平成15年度～17年度 総合研究報告書

主任研究者 三宅 智

平成18(2006)年3月

目次

I. 総合研究報告

新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究

平成15年度 倉田 毅

平成16年度 中谷 比呂樹

平成17年度 三宅 智

(資料) ①平成15年度新規採択課題

②平成15年度継続課題

③平成15年度終了課題

④平成16年度新規採択課題

⑤平成16年度継続課題

⑥平成16年度終了課題

⑦平成17年度新規採択課題

⑧平成17年度継続課題

⑨平成17年度終了課題

⑩平成18年度新規採択課題

⑪平成16年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針

⑫平成17年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針

⑬平成18年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針

新興・再興感染症事業の企画及び評価に関する研究
平成15～17年度 総合研究報告書

主任研究者 三宅 智 国立感染症研究所 企画調整主幹

研究要旨

新興・再興感染症研究の専門家からなる委員会を設け、新興・再興感染症研究事業の適正かつ円滑な実施を図った。また、企画評価に必要な情報収集、調査を行った。

分担研究者

中嶋健介 (国立感染症研究所)

A. 研究目的

新興・再興感染症研究事業を効果的に実施するには、適切な課題の設定、最適な研究者の選考、公正な研究費の配分、そして厳密な研究成果の評価が不可欠であり、感染症研究の専門家からなる委員会で行う。また、企画評価に必要な情報収集、調査を行う。

B 研究方法

新興・再興感染症研究の専門家から構成される評価委員会（以下「評価委員会」という。）を組織し、

- 1) 研究者の選考及び研究費の配分審査の決定。
- 2) 研究課題の設定。
- 3) 研究成果で、特に、中間・事

後の研究については、発表会を実施し、併せて全研究課題の評価をおこなう。

- 4) 新興再興感染症の企画評価に必要な情報収集、調査を行う。

C 研究結果

- 1) 平成 16~18 年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針を策定した。
- 2) 平成 15~17 年度研究終了課題の事後評価を行った。
- 3) 平成 15~17 年度継続研究課題の中間評価を行った。
- 4) 平成 16~18 年度新興・再興感染症研究事業における新規課題採択方針を策定した。
- 5) 新興再興感染症の企画評価

に必要な情報収集、調査を行った。

D 結論

新興・再興感染症研究事業の企画評価のために必要な新興再興感染症に関する情報収集、調査を行い、企画評価に役立てるとともに、研究事業の評価方法に関する資料の収集・分析及び評価委員会の運営を通して、より適切な評価を行うための手法について有益な所見が得られた。

平成15年度から17年度までの終了課題 の評価分析

研究期間の3年間平成15年度から17年度までに終了した課題について、それぞれの研究期間に受けた評価の推移を、行政、専門別にまとめたものが表1から表6である。

この間に終了した全課題について、前年と次年の関係について統計的分析を行った結果、専門評価では有意な関係が見られなかったが、行政評価では係数 -0.52317 で確率値が 0.013 (0.05 未満)となり、行政評価は前年に比べて次年度の評価が厳しくなる結果が見られた。また、1年目の評価結果と、2年目、3年目の評価結果を比較したところ、今度は逆に専門評価において、最終評価の結果のみが係数 -0.23911 で確率値 0.018 と、最終年度が厳しい結果となる傾向がみられた。それ以外については有意な差は見られなかった。

表1. 15年度 終了課題 行政

	13年	14年	15年
		7.5	7.5
	6.6	7.8	7.7
	7.0	7.8	7.0
	6.4	8.0	7.8
	6.6	7.3	8.3

表2. 15年度 終了課題 専門

	13年	14年	15年
		7.2	7.2
	7.4	8.2	8.2
	7.4	7.6	7.6
	7.6	8.4	9.0
	7.0	7.6	8.2

表3. 16年度 終了課題 行政

	14年	15年	16年
	8.0	7.8	9.5
	7.8	8.0	7.0
	7.3	7.3	7.2
	7.7	8.3	8.8
	8.0	7.5	8.5
	7.7	7.8	8.2
	7.7	7.7	7.0
	7.8	7.8	9.0

表4. 16年度 終了課題 専門

	14年	15年	16年
	8.8	8.6	8.8
	8.2	7.8	7.8
	7.0	6.8	6.4
	8.0	7.6	8.2
	7.0	7.4	7.0
	7.3	7.0	7.0
	7.3	7.0	7.8
	7.5	7.4	7.4

表5. 17年度 終了課題 行政

	15年	16年	17年
	8.2	7.3	6.8
	7.5	9.2	7.3
	7.3	6.8	7.3
	8.3	7.3	7.3
	8.0	8.8	7.3
	7.3	7.7	7.3
	7.2	8.8	6.7
	6.7	6.5	5.8
	7.5	7.8	6.7
	7.8	8.0	7.2
	7.5	7.2	6.8
	7.7	8.5	7.7
	8.0	7.7	7.7
	7.0	6.7	7.0
	7.5	7.2	6.5
	7.5	6.2	6.2
	7.8	8.8	7.0
	7.2	7.5	7.0
	8.0	7.5	6.7
	7.5	9.2	7.0
	7.7	8.2	6.7
	7.3	6.8	6.5
	6.8	6.5	6.2
		7.2	6.2

表6. 17年度 終了課題 専門

	15年	16年	17年
	8.0	8.2	7.5
	7.8	7.4	7.0
	8.0	8.2	7.7
	7.8	7.6	8.5
	8.0	7.4	7.5
	7.8	7.2	7.2
	7.6	7.4	6.8
	7.6	7.0	7.5
	9.0	8.2	7.5
	7.8	7.0	7.8
	7.4	7.6	7.0
	7.8	7.8	7.0
	8.4	8.0	7.7
	7.6	7.8	7.5
	8.0	7.0	7.2
	7.6	7.0	7.2
	8.4	8.2	7.0
	8.0	7.2	7.7
	7.4	7.2	6.7
	7.8	7.6	7.5
	5.8	6.2	5.8
	7.4	7.2	7.3
	7.2	6.4	6.8
		6.8	6.2

平成 15 年度新規採択課題

資料①

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
1	寺嶋 淳	国立感染症研究所細菌第一部第一室	室長	食品由来感染症の細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究
2	谷口 清州	国立感染症研究所感染症情報センター第一室	室長	効果的な感染症発生動向調査のための国及び県の発生動向調査の方法論の開発に関する研究
3	森 亨	(財)結核予防会結核研究所	所長	小児結核及び多剤耐性結核の予防、診断、治療における技術開発に関する研究
4	森島 恒雄	岡山大学大学院医歯学総合研究科	教授	インフルエンザ脳症の発症因子の解明と治療及び予防方法の確立に関する研究
5	板村 繁之 (西藤岳彦)	国立感染症研究所ウイルス第三部	主任研究官	インフルエンザパンデミックに対する危機管理体制と国際対応に関する研究
6	小野寺 昭一	東京慈恵会医科大学	教授	性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究
7	神谷 正男	酪農学園大学環境システム学部	教授	動物由来寄生虫症の流行地拡大防止対策に関する研究
8	太田 伸生	名古屋市立大学大学院医学研究科宿主寄生虫関係学	教授	輸入蠕虫性疾患の監視と医療対応整備に関する研究
9	池 康嘉	群馬大学大学院医学系研究科細菌感染制御学	教授	新型の薬剤耐性菌のレファレンス並びに耐性機構の解析及び迅速・簡便検出法に関する研究
10	荒川 宜親	国立感染症研究所細菌第二部	部長	薬剤耐性菌の発生動向のネットワークに関する研究
11	倉辻 忠俊	国立成育医療センター研究所	所長	院内感染の発症リスクの評価及び効果的な対策システムの開発に関する研究

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
12	吉川 泰弘	東京大学大学院農学 生命科学研究科	教授	輸入動物に由来する新興感染症侵入防止対策に関する研究
13	武田 直和	国立感染症研究所ウイ ルス第二部	室長	食品由来のウイルス性感染症の検出法の高度化、実用化に関する研究
14	増澤 俊幸	千葉科学大学	教授	回帰熱、レプトスピラ等の希少輸入細菌感染症の実態調査及び迅速診断法の確立に関する研究
15	向井 徹	国立感染症研究所ハ ンセン病研究センター 病原微生物部	室長	ハンセン病の早期診断・薬剤耐性・ワクチンに係る新技術の戦略的開発及び発症状況把握に関する研究
16	国包 章一	国立保健医療科学院 水道工学部	部長	クリプトスポリジウム等による水系感染症に係わる健康リスク評価及び管理に関する研究(クリプトスポリジウム症等感染リスクの評価手法の確立に関する研究)
17	高崎 智彦	国立感染症研究所ウイ ルス第一部	室長	節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学及びワクチン開発に関する研究
18	小林 睦生	国立感染症研究所昆 虫医学部	部長	感染症媒介ベクターの実態、生息防止対策に関する研究
19	神山 恒夫	国立感染症研究所獣 医科学部第一室	室長	愛玩動物の衛生管理の徹底に関する研究
20	岡部 信彦	国立感染症研究所感 染症情報センター	センタ ー長	水痘、流行性耳下腺炎、肺炎球菌による肺炎等の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究
21	加藤 達夫	聖マリアンナ医科大学 小児科学	教授	ポリオ及び麻疹の現状とその予防接種の効果に関する研究
22	狩野 繁之	国立国際医療センター 研究所適正技術開発・ 移転研究部	部長	マラリアの感染予防及び治療に関する研究
23	佐々木次雄	国立感染症研究所細 菌第二部第二室	室長	百日咳菌、ジフテリア菌、マイコプラズマ等の臨床分離菌の収集と分子疫学的解析に関する研究

平成 15 年度継続課題

資料②

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
1	岡田 全司	国立療養所近畿中央病院 臨床研究センター結核研究部	部長	結核菌症の病態解明に基づく新たな治療法等の開発に関する研究：[抗結核キラーTリンパ球・結核殺傷蛋白による病態解明に基づく結核ワクチン(サブユニット・DNA-リコンビナントBCG-ワクチン)・化学療法剤の開発による新しい治療・予防・診断法]
2	竹内 勤	慶應義塾大学医学部	教授	赤痢アメーバ症等寄生虫症ハイリスク群に対する予防法等の開発に関する研究
3	山本 茂貴	国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部	部長	ビブリオ・バルニフィカスによる重篤な経口感染症に関する研究
4	島田 馨	東京専売病院	病院長	生物テロに使用される可能性の高い病原体による感染症の蔓延防止、予防、診断、治療に関する研究
5	山本 保博	日本医科大学附属病院 高度救命救急センター	主任教授、 部長	国内での発生が稀少のため知見が乏しい感染症対応のための技術的基盤整備に関する研究
6	大久保 一郎 (申請時：近藤 健文)	筑波大学医学部医学社会学	教授	大規模感染症発生時における行政機関、医療機関等の間の広域連携に関する研究
7	石川 信克	(財)結核予防会結核研究所	副所長	都市部における一般対策の及ぶにくい特定集団に対する効果的な感染症対策に関する研究
8	廣田 良夫	大阪市立大学大学院 医学研究科公衆衛生学	教授	インフルエンザ予防接種のEBMに基づく政策評価に関する研究

平成 15 年度終了課題

資料③

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
1	牧野 正彦	国立感染症研究所病原微生物部	部長	ツベルクリン検査、BCG等に代わる結核等の抗酸菌症に係る新世代の診断技術及び予防技術の確立
2	高島 郁夫	北海道大学大学院獣医学研究科	教授	野生げっ歯類及び節足動物に由来する感染症の診断、疫学及び予防に関する研究
3	清野 宏	東京大学医科学研究所	教授	粘膜ワクチン開発の基礎となるアジュバントに関する研究
4	山田 章雄	国立感染症研究所獣医科学部	部長	動物由来感染症対策としての新しいサーベイランスシステムの開発に関する研究

平成 16 年度新規採択課題

資料④

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
1	牧野 正彦	国立感染症研究所病原微生物部	部長	ツベルクリン検査、BCG等に代わる結核等の抗酸菌症に係る新世代の診断技術及び予防技術の確立
2	高島 郁夫	北海道大学大学院獣医学研究科	教授	野生げっ歯類及び節足動物に由来する感染症の診断、疫学及び予防に関する研究
3	清野 宏	東京大学医科学研究所	教授	粘膜ワクチン開発の基礎となるアジュバントに関する研究
4	山田 章雄	国立感染症研究所獣医科学部	部長	動物由来感染症のサーベイランス手法の開発に関する研究
5	谷原 真一	島根大学医学部	教授	わが国における飲食に起因する経口感染症の被害推計の精密化に関する研究
6	上原 至雅	国立感染症研究所生物活性物質部	部長	輸入真菌症等真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究
7	宮村 達男	国立感染症研究所ウイルス第二部	部長	ポリオ野生株ウイルスの封じ込め対策に関する研究
8	高山 直秀	東京都立駒込病院小児科	部長	国内の患者症例報告に基づく動物由来感染症の実態把握及び今後の患者症例報告収集と検索システムの開発に関する研究
9	田口 文広	国立感染症研究所ウイルス第三部	主任研究官	SARSコロナウイルスに対するワクチン開発に関する研究
10	菅村 和夫	東北大学大学院医学系研究科	教授	SARSウイルス感染阻止化合物の探索
11	森川 茂	国立感染症研究所ウイルス第一部	室長	SARSコロナウイルス検査法の精度向上及び迅速化に関する研究

No	主任研究者	所属施設	職名	研究課題
12	伊東 恭悟	久留米大学医学部	教授	ペプチド抗体によるSARS(重症急性呼吸器症候群)診断の迅速化
13	丸井 英二	順天堂大学医学部	教授	大規模感染症発生時の効果的かつ適切な情報伝達の在り方に関する研究
14	大日 康史	国立感染症研究所感染症情報センター	主任研究官	SARS, バイオテロ、インフルエンザ対策としてのリアルタイム・アウトブレイク・サーベイランス・システム構築のための基礎的研究
15	切替 照雄	国立国際医療センター研究所	部長	ヒト型抗SARS中和抗体の開発研究
16	笹月 健彦	国立国際医療センター研究所	所長	SARSの感染・発症・重症化の分子機構
17	森本 金次郎	国立感染症研究所ウイルス第一部	室長	ウイルスペクターを応用したワクチン開発迅速化のための基盤的技術開発の研究

平成16年度継続課題一覧表 資料⑤

No.	研 究 課 題 名
1	食品由来感染症の細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究
2	効果的な感染症発生動向調査のための国及び県の発生動向調査の方法論の開発に関する研究
3	小児結核及び多剤耐性結核の予防、診断、治療における技術開発に関する研究
4	インフルエンザ脳症の発症因子の解明と治療及び予防方法の確立に関する研究
5	インフルエンザパンデミックに対する危機管理体制と国際対応に関する研究
6	性感染症の効果的な蔓延防止に関する研究
7	動物由来寄生虫症の流行地拡大防止対策に関する研究
8	輸入蠕虫性疾患の監視と医療対応整備に関する研究
9	新型の薬剤耐性菌のレファレンス並びに耐性機構の解析及び迅速・簡便検出法に関する研究
10	薬剤耐性菌の発生動向のネットワークに関する研究

11	院内感染の発症リスクの評価及び効果的な対策システムの開発に関する研究
12	輸入動物に由来する新興感染症侵入防止対策に関する研究
13	食品由来のウイルス性感染症の検出法の高度化、実用化に関する研究
14	回帰熱、レプトスピラ等の希少輸入細菌感染症の実態調査及び迅速診断法の確立に関する研究
15	ハンセン病の早期診断・薬剤耐性・ワクチンに係る新技術の戦略的開発及び発症状況把握に関する研究
16	クリプトスポリジウム等による水系感染症に係わる健康リスク評価及び管理に関する研究(クリプトスポリジウム症等感染リスクの評価手法の確立に関する研究)
17	節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学及びワクチン開発に関する研究
18	感染症媒介ベクターの実態、生息防止対策に関する研究
19	愛玩動物の衛生管理の徹底に関する研究
20	水痘、流行性耳下腺炎、肺炎球菌による肺炎等の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究
21	ポリオ及び麻疹の現状とその予防接種の効果に関する研究
22	マラリアの感染予防及び治療に関する研究

23	百日咳菌、ジフテリア菌、マイコプラズマ等の臨床分離菌の収集と分子疫学的解析に関する研究
24	ツベルクリン検査、BCG等に代わる結核等の抗酸菌症に係る新世代の診断技術及び予防技術の確立
25	野生げっ歯類及び節足動物に由来する感染症の診断、疫学及び予防に関する研究
26	粘膜ワクチン開発の基礎となるアジュバントに関する研究
27	動物由来感染症のサーベイランス手法の開発に関する研究
28	わが国における飲食に起因する経口感染症の被害推計の精密化に関する研究
29	輸入真菌症等真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究
30	ポリオ野生株ウイルスの封じ込め対策に関する研究
31	国内の患者症例報告に基づく動物由来感染症の実態把握及び今後の患者症例報告収集と検索システムの開発に関する研究
32	SARSコロナウイルスに対するワクチン開発に関する研究
33	SARSウイルス感染阻止化合物の探索
34	SARSコロナウイルス検査法の精度向上及び迅速化に関する研究

35	ペプチド抗体によるSARS(重症急性呼吸器症候群)診断の迅速化
36	大規模感染症発生時の効果的かつ適切な情報伝達の在り方に関する研究
37	SARS, バイオテロ、インフルエンザ対策としてのリアルタイム・アウトブレイク・サーベイランス・システム構築のための基礎的研究
38	ヒト型抗SARS中和抗体の開発研究
39	SARSの感染・発症・重症化の分子機構
40	ウイルスペクターを応用したワクチン開発迅速化のための基盤的技術開発の研究

平成16年度終了課題一覧表 資料⑥

No.	研 究 課 題 名
1	結核菌症の病態解明に基づく新たな治療法等の開発に関する研究：〔抗結核キラーTリンパ球・結核殺傷蛋白による病態解明に基づく結核ワクチン(サブユニット・DNA・リコンビナントBCGワクチン)・化学療法剤の開発による新しい治療・予防・診断法〕
2	赤痢アメーバ症等寄生虫症ハイリスク群に対する予防法等の開発に関する研究
3	ビブリオ・バルニフィカスによる重篤な経口感染症に関する研究
4	生物テロに使用される可能性の高い病原体による感染症の蔓延防止、予防、診断、治療に関する研究
5	国内での発生が稀少のため知見が乏しい感染症対応のための技術的基盤整備に関する研究
6	大規模感染症発生時における行政機関、医療機関等との広域連携に関する研究
7	都市部における一般対策の及びにくい特定集団に対する効果的な感染症対策に関する研究
8	インフルエンザ予防接種のEBMに基づく政策評価に関する研究